

みずほCustomer Desk Report 2016/11/07号(As of 2016/11/04)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	103.06	1.1099	114.38	0.9746	1.2467	0.7684
SYD-NY High	103.35	1.1143	114.90	0.9756	1.2558	0.7697
SYD-NY Low	102.83	1.1080	114.16	0.9680	1.2449	0.7652
NY 5:00 PM	103.10	1.1143	114.90	0.9680	1.2519	0.7671
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	12.1/12.775	△25RR	2.093	Yen Call Over		

	日本2年債	日本10年債	米国2年債	米国5年債	米国10年債	独10年債	英10年債	豪10年債
債券市場	-0.2580	-0.0620	0.7838	1.2321	1.7762	0.1350	1.1300	2.3290
	-	0.1bp	▲2.2bp	▲3.3bp	▲3.5bp	▲2.3bp	▲7.1bp	2.9bp

	USD/CNH	ドルインデックス
為替市況	6.7728	97.07
	0.0026	▲0.09

	CRB指数	NY金	WTI	Dubai Spot
商品市況	182.504	1,304.500	44.070	42.97
	▲0.88	1.20	▲0.59	▲0.71

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月4日	08:50	日 対外・対内証券投資	-	-
	09:30	豪 RBA四半期金融政策報告	-	-
	17:55	独 マークイットサービス業/総合PMI・確報値	10月 54.2/55.1	54.1/55.1
	18:00	欧 マークイットサービス業/総合PMI・確報値	10月 52.8/53.3	53.5/53.7
	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	10月 161K	173K
	21:30	米 失業率	10月 4.9%	4.9%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	10月 0.4%/2.8%	0.3%/2.6%
	21:30	米 貿易収支	9月 -\$36.4B	-\$38.0B
	21:45	米 ロックハート・アトランタ連銀総裁講演	-	-
11月5日	02:00	欧 コンスタンチン・オECB副総裁講演	-	-
	05:00	米 フィッシャーFRB副議長講演	-	-
11月6日	-	米 米国で夏時間終了、冬時間に移行	-	-

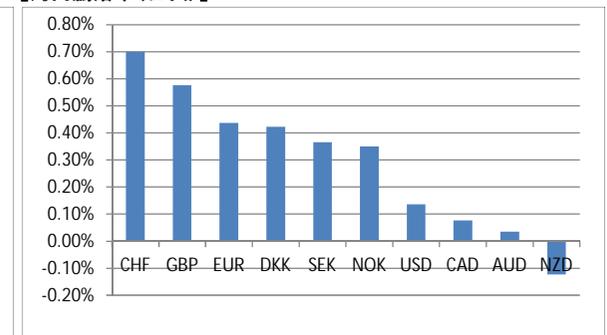
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月7日	08:50	日 日銀金融政策決定会合議事要旨	-	-
	16:00	独 製造業受注指数(前月比)	9月 0.2%	1.0%
	19:00	欧 小売売上高(前月比/前年比)	9月 -0.3%/1.2%	-0.1%/0.6%
11月8日	-	米 ユーロ圏財務相会合	-	-
	00:00	米 労働市場情勢指数	10月 -	-2.2

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



東京	東京時間のドル円は103.06レベルでオープン。日経平均株価が前営業日比170円超安で寄り付いたものの、この日は実質的な五・十日に当たることから実需勢によるドル買い期待等もありドル円は103.20まで上昇。しかし、日経平均株価が一段と下げ幅を拡大する動きとなるドル円も下落に転じ、一時102.83まで下落した。売り一巡後に再び103円台を回復すると、米10月雇用統計や8日の米大統領選挙を控えて様子見ムードが強まり、狭いレンジでの推移が継続。しかし、その後目立った材料がない中で買いが強まり一時103.27まで上昇した後、103.24レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は103.24レベルでオープン。オープン後に高値103.35をつけるも、米10月雇用統計の発表や11月8日の米大統領選挙を控える中、ポジション調整等からややドル売りが強まり102.95レベルにてニューヨークへ渡った。ロンドンドルは1.2461レベルでオープン。前日にロンドン高等法院が「英政府が議会承認を得ずに50条の脱退通告を行うのは違法」との判決を下したことや英中銀の「目標を上回るインフレ率を許容するにも限界がある」との声明文等が意識され1.24後半までの底堅い推移となり、1.2482レベルにてニューヨークへ渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	ドル円は102.95レベルでNYオープン。朝方発表された米10月非農業部門雇用者数変化は前月比+161千人と予想+173千人を下回ったが、過去二か月分が上方修正されたことや平均時給が予想を上回ったことが12月FOMC利上げに追い風となると受け止められドル買いが強まり、103.30まで上昇。「減産を拒むイラクに対してサウジアラビアが増産を材料に脅した」との報道を受けて原油供給過剰懸念から原油相場が下落したことや、トルコ情勢の悪化を受けリスク回避の動きが強まり、ドル円は102.86まで反落。しかし、その後OPEC幹部が上記報道を否定したことやWTI原油価格が43ドル半ばから45ドル近くまで急伸すると、ドル円は再び103.24まで上昇。その後は米大統領選挙を11月8日に控え、103.10を挟んでの方向感を欠く推移。結局、ドル円は103.10レベルでクロスした。一方ユーロドルは1.1104レベルでNYオープン。朝方は米10月雇用統計発表後にドル買いが強まり1.1080まで下落。しかし年末のFOMC利上げは概ね市場に織り込まれており、イベント通過後は翌週に大統領選挙を控えてポジション調整と見られる動きが強まり、ユーロドルは1.1143まで上昇し、クロスした。

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	103.50-105.50	1.1000-1.1100	114.20-115.70

【マーケット・インプレッション】

前週末の海外市場でのドル/円は揉み合う展開。注目された米10月雇用統計では、平均賃金は市場予想を上回ったものの非農業部門雇用者数では市場予想を下回りまちまちの結果となった。足許の注目が米大統領選に集まっていたこともあり市場の反応は限定的で、結局103円台前半で越える形となった。本日のドル/円は上昇する展開を予想。先週トランプ氏の僅差でのリードを伝えた一部世論調査の新たな調査においてクリントン氏が数ポイント差でリードしている結果となり、同氏の「私用メール問題」を巡ってはFBI長官より「訴追せず」との再捜査結果が公表されたことなどを背景に、米大統領選の先行き不透明感が緩和されドルの買い戻しが進行するだろう。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。